

進路指導室から 第271号

はじめに

ウェブサイト「山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信」に、「Google人動態解析から見た対策の効果」について紹介されていました。

下記の表は3月29日現在のデータの抜粋ですが、欧米では、「買い物・レクリエーション」の外出は激減し、「仕事」からも人が半減しています。一方、東京は、「買い物・レクリエーション」は60%程度減少していますが、「仕事」の減少は27%にとどまっています。大阪や京都は、「買い物・レクリエーション」・「仕事」とも低い数字になっています。

国・地域	買い物・レクリエーション	仕事	自宅
イタリア	-94%	-63%	+24%
ロンドン	-87%	-62%	+19%
ニューヨーク	-86%	-57%	+19%
サンフランシスコ	-75%	-53%	+21%
東京	-63%	-27%	+24%
大阪	-21%	-7%	+6%
京都	-10%	-3%	+4%

新型コロナウイルス拡大の終息がなかなか見えません。国民一人ひとりが、自らの行動が及ぼす影響をしっかりと意識する必要があると思います。

「全校集会での講話」について

4月6日（月）の年度当初の全校集会の講話で、以下のことを話しました。

新型コロナウイルスによる影響から、今年度は離任式が行われません。いずれの先生方も本校の発展のために多大な貢献を果たしてこられました。本来ならば、私の講話よりも、離任される先生方からみなさんお話していただく方がよほど有意義なものであったと思っています。

みなさんも知ってのとおり、新型コロナウイルスの影響により、2月から3月に予定されていた学校行事がすべて取りやめとなりました。その結果、お世話になった先輩たちのお別れができませんでした。第4回考査に向けて取り組んできた成果をはかることができませんでした。そして、クラスマッチでみんなと一緒に頑張ることもできませんでした。

私は競技かるた部の参与を務めています。昨年秋に本校競技かるた部は中国地区大会で2回目の優勝を果たし、青森で行われる全国大会に出場する予定でした。全国の強豪チームと対戦できる貴重な機会であり、部員たちと青森へ行くことを本当に楽しみにしていました。ただし、本来は3月に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスを懸念し、5月に開催されることに変更されました。しかし、このような状況の中での開催は難しいと最終的に判断され、先日、中止の判断に至りました。

大会出場を楽しみにしていた部員たちはとても残念に思っているはずですが、それでも、大会開催に向けて全国の先生方と協議する中で、何とか高校生の願いを叶えてあげたいという全国の先生方の強い思いが感じられました。特に開催地の青森県の先生方には、会場や限られた宿泊場所の手配等で本当にお世話になりました。

さて、桜の季節を迎えました。広島城周辺の桜も満開です。今日からみなさんの新年度が始まりましたが、皆さんとともに努めていきたいことが2点あります。

1点目は、正しい情報を集めることです。

私が新型コロナウイルスに係る情報として参考にしてているのは、京都大学iP S研究所山中伸弥所長・教授が個人の資格で発信されているウェブサイト「山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信」です。行動する際には、正しい情報が求められます。新型コロナウイルス感染症については、残念ながらいろいろな情報が交雑している状況ですが、正しい情報に基づく行動が求められています。

山中所長・教授は、新型コロナウイルスに関する情報を4つに分類しています。

1つは、「エビデンス（証拠）があり、正しい可能性がある情報」です。

□ 国、地域により致死率が異なる。

ドイツ：0.5%、韓国、クルーズ船、武漢以外の中国：1～1.5%

武漢：4.5%、イタリア：10% 日本：3.5%。

□ 感染後、症状が出るまでの潜伏期間は1日から17日とばらつきがある。（平均は7日程度）

□ 感染しても、症状が出ない場合がある。

- 感染しても検査で陰性となる場合がある。
- 発症しても多くの場合は、発熱や咳などの軽症。
- 咳等の飛沫とドアノブ等を介しての接触で感染する。
- 症状がなくても、他の人を感染させる場合がある。
- 手洗いやマスクをしていても感染することがある。
- ワクチンはまだ開発されていない。
- 効果の証明された治療薬はない。

一方、「証拠（エビデンス）の乏しい情報」として次のようなものがあります。

- 暖かくなると感染は終息する。
- 感染者の報告されていない都道府県では、感染拡大の可能性は低い。
- 屋外のイベントではクラスターの心配はない。（着替え、食事、トイレなど、室内で人が集まれば、クラスターの危険あり）
- 新型コロナウイルスは人工的につくられた。

その他、山中所長・教授は、「正しい可能性があるが、さらなる証拠（エビデンス）が必要な情報」、「正しいかもしれないが、さらなる証拠（エビデンス）が必要な情報」に分けています。是非、一度、山中所長・教授のウェブサイトを確認してください。

1点目が長くなりましたが、2点目は、本校で感染者を出さないように努めることです。みなさんが安心して学校生活を送るためには、日常生活が脅かされることのない「平和」が必要です。「平和」を維持するためには、自分自身を大切にするとともに、自分を支えてくれている存在を意識することが必要だと思います。

最後に、進路指導に関わることを少しお話します。

今年度から大学入試が大きく変わります。これまで行われたきた大学入試センター試験にかわり、新たな大学入学共通テストが行われます。昨年の秋からの動向の中で、大学入学共通テストで導入される英語民間試験と国語の記述問題の2020年度の実施は見送られましたが、大学入学共通テストが行われることにより、大学入試で求められる資質・能力が広がります。

これまでの大学入試で求められた資質・能力は、主に、「知識」と「思考力・判断力・表現力」の2つでした。これからの大学入試では、先の2つの資質・能力に加えて「主体性・多様性・協調性」が加わるとともに、「知識」と「思考力・判断力・表現力」がより求められます。

つまり、皆さんが大学入試に臨むためには、「自分で考え、表現する力」を養っていく必要があります。

また、大学入試センター試験の英語において、「リーディング」と「リスニング」の配点は200点对50点、つまり、配点比は4対1でした。しかし、入試制度が変わり、配点比が東京大学では7対3、京都大学では3対1、広島大学では1対1というように各大学により異なっています。また、総合的な学習（探求）の取組、部活動の実績、資格所得の状況等の高校生活での「主体性」を選抜の際に評価する大学が増加することが見込まれています。

このように、皆さんは新しい入試制度のもとで受験に臨んでいきますが、各自が志望している大学等についての正しい情報を集め、準備を進めていく必要があります。

今日から2020年度が始まりました。1日1日を大切に、自らの成長を実感できる1年にしてもらいたいと願っています。

「日本学生支援機構奨学金説明会」について

4月27日（月）に本校視聴覚教室で、生徒対象の「日本学生支援機構奨学金説明会」を行います。日本学生支援機構奨学金の給付並びに貸与を検討している場合は、必ずこの説明会に参加するようにしてください。

終わりに

この春本校を卒業し、就職した卒業生から、3月31日（火）の夕方に電話がかかり、しきりに不安な気持ちを訴えられました。私が知る彼女の姿から意外な感じがしましたが、やはりこれまでとは環境が大きく変わることに対して、不安な気持ちで一杯だったのでしょう。いろいろと話をしましたが、そのうち何とか落ち着き、次の日を迎えたようです。あれから電話はありません。彼女のことだから、何とか元気にやっているのではないかと呑気に考えています。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）